

社会福祉法人はぐくみ会 2019 年度事業報告

I はじめに

2019 年度におきましても、将来計画の具体化と人材育成を大きな柱に取り組んでまいりました。これらのことにつきましては、ここ数年の当法人の大きな課題であります。

将来計画につきましては、土地の取得という大きな前進の機会となる年となりました。このことをきっかけに、日中サービス支援型グループホームの話を進め、国庫補助申請を出すところまで進めることができました。「生活介護事業所の創設」「グループホームの創設」といった大きな二つの計画があるわけですが、ニーズの変化をとらえ丁寧な論議を重ねる中で、計画の具体化に向けて準備を進めております。

また、人材育成につきましては、ここ数年継続して取り組みを進めております。継続する中で積み上げが出来たこと、一方でまだまだ課題として残っていることもあろうかと思えます。日中サービス支援型グループホームの創設という新たな事業拡大を計画している今だからこそ、これまでの取り組みをしっかりと振り返り、今後に繋げていく時期に来ているのだらうと思えます。私たちの仕事は、数字などのはっきりしたもので結果が表れるものでもなく、評価と言われるとどうしたらと難しい面もあるのですが、職員一人一人が自分の成長と課題を自覚し、今後、働く中で主体的に働いていけるよう取り組んでまいります。

さらに、年度後半には、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、このことは 2020 年度の事業にも大きく影響を及ぼすと思われまます。「障害のある人たちの命と生活を守る」、私たちの仕事の意味を再確認する機会としてとらえ、感染予防にしっかりと努めながら事業の継続に努めてまいります。

2020 年度も課題が山積しております。しっかりと振り返り、また、2020 年度に繋げてまいりたいと思えます。どうか、皆様、忌憚のないご意見をいただけますよう宜しくお願いいたします。

～当法人の理念～

障害者・家族・関係者の願いに基づき、障害の種別や程度にかかわらず、障害者が社会の一員としていきいきと生きるための労働と生活の場を保障し、併せて地域社会に根ざした社会的自立と福祉の向上を図る。

II 障害福祉サービス事業（生活介護・就労継続支援 B 型）

事業計画

項目	期間	事業内容	中間総括	年間総括
1 仲間、一人ひとりの課題、ニーズに合わせた取組みを考える（継続）	年間	<p>(1) 仲間一人ひとりについて、職員は常に仲間への理解を深め、思いを汲み取りながら、毎日の取組みや活動を考えていく。</p> <p>理解を深めていくために、これまでの記録用紙を変更（<u>記録内容の変更</u>）するとともに、記録の仕方についても職員間で統一し、個人日誌を充実させる。</p>	<p>(1) 仲間への理解を深めていくために職員同士で話をすることは増えてきているが、まだまだ思いを汲み取りきれていないことも多いのではと感じる。仲間一人ひとりの願いは？どんなことを望んでいるのか？ということをもっと職員で話ができるようにと思う。</p> <p>また、職員会議に参加しない職員へ仲間の様子を伝えることは意識してきたが、伝えきれていないことも多いと感じる。今後は、職員全体で仲間の理解をより深めていくために連携の取り方に工夫をしていく必要がある。</p> <p>毎日の記録については、作業、活動の手順書を作成した仲間へは日誌の様式も細かく記録できるようにし記録をしている。細かなところまで記録できることは良かったが、記録の抜け落ちもあるため、担当職員を中心に記録の確認をす</p>	<p>(1) 仲間への理解を深めていくために職員同士で話をすることは増えてきているが、さらに話し込んでいくことや、具体的にどのようなようにしていけば仲間の思いを汲み取れるのかを職員で話し合うことが必要だと感じる。来年度は、そのようなことが出来るように取組んでいく。</p> <p>また、職員間の情報共有については、パート職員の朝の打合せをおこなうことにし、仲間の様子を伝える時間が出来た。今後は、さらにパート職員からの意見や支援についての話しが出来るように工夫をしていきたいと思う。</p> <p>今年度、記録の抜け落ちもあったため、各担当職員</p>

		<p>(2) 個別支援計画の内容をしっかりと論議していき、職員全体で仲間の支援について共通認識し、支援のばらつきがない様、取組んでいく。また、支援の内容が仲間に合っているか常に意識をしながら取組みをすすめていく。定期的に支援計画を確認する時間を設ける。(年間の会議日程の設定、個人日誌に目標などファイルし意識付けをしていく)</p>	<p>る必要がある。</p> <p>また、記録の仕方についても要点をまとめて記録することと、特記事項などは赤ペンで記録するなどして、仲間の様子の振り返りが出来るようにしていくことが大切である。そうすることが、また仲間への理解を深められることに繋がる。</p> <p>(2) 定期的に支援計画の内容を確認する時間を設け、論議出来たことは良かったと感じる。しかし、それでも支援のばらつきがあると思うため、日々の中で支援について気付いたことや支援内容を確認出来るように職員間でお互いに一日を振り返り話が出来るようにしていかないといけないと感じる。</p> <p>あと、個人日誌に目標などをファイル出来ていないので早急に取組む。</p>	<p>が意識をしてその日の日誌を読み、確認をすることが必要であったかと思う。今後は、記録の仕方を充実させ、そこから仲間の思いや変化などが汲み取っていけるようにしていく。</p> <p>(2) 今年度より定期的な支援計画の確認会議では、一定の形式で資料を配布し、15分という短い時間を有効的に使い情報共有が出来たが、支援のばらつきはあるため、職員間でその日を振り返る時間が必要。今後は、夕方の時間を確保し、一日の振り返りと情報共有できる場を設定する工夫をおこなっていけるよう考えていきたい。</p> <p>個人日誌への目標などのファイリングは2月末で完了。</p>
--	--	--	--	---

		<p>(3) 職員は、常に仲間や家族の願いを汲み取り、今必要な支援、そして、将来を見据えて必要な支援は何かと積極的に論議をしていく。そのために、職員は、今まで以上に仲間や家族の方との関係を深め、一瞬の様子や話から思いを汲み取れるよう努力していく。また、当法人が取組んでいる、将来計画実現委員会へ、願いや思いを伝えていけるよう、<u>各部会に所属している職員は、積極的な取組みを考</u> <u>えていく。</u></p> <p>(4) 実践において、発達保障の視点を大切に、仲間が働くことや生活の幅をひろげる、豊かにするといったことを職員で論議し、深めていく。(8月に所内研</p>	<p>(3) 連絡帳や送迎時、また懇談時に思いを汲み取っていく意識は持っていたと思うが、まだまだなところもあると感じる。家族の方との距離を縮め、関係を深めていく努力し、願いや困りごとなどを感じられる職員になっていくことと、信頼して色々なことを話してもらえる職員になっていくことが大事。</p> <p>将来計画実現委員会においても、仲間や家族の方の願いを継続して汲み取っているが、ニーズは変化していくので、常に願いを汲み取っていく意識を持つことが必要だと感じる。</p> <p>ホーム部会では、今年度、宿泊体験を実施する計画をし、実施出来たことは将来計画においても今後に繋がれたと感じる。</p> <p>(4) 昨年度に続き、所内研修が出来たことは良かったと感じる。職員で学習したことを日々の実践に活かすことが出来るように、もっと論議していく時間も必要だと感</p>	<p>(3) 送迎時や懇談時に意識をして色々なことを家族の方から聞き取りが出来たことは良かった。そのことを職員全体で共有する時間が少なかったので、今後は、情報共有できる場の設定をしていくことと、聞き取った内容を意識しながら、仲間や家族の方とやり取りをし、関係を深めていく努力が出来ればと思う。</p> <p>ホーム部会では、今年度、宿泊体験を実施出来、少しでもホームのイメージを職員が持てたことは良かった。来年度についても継続していき、将来に繋がっていきたいと思う。</p> <p>(4) 昨年度に続き、所内研修が出来たことは良かったと感じる。職員で学習したことを日々の実践に活かすことが出来るように、も</p>
--	--	---	--	--

<p>2 就労支援事業の収支について、収入増を目指す (継続)</p>	<p>年 間</p>	<p>修をおこなう</p> <p>(1) 毎月の取組みとして、グループ分けをし、仲間一人ひとりに合わせた内容で、一ヶ月の頑張りを伝え合い、作業への期待や意欲に繋がるよう、お給料の話しをしていく。また、<u>取組みの振り返りと論議を重ね、仲間にとってより良い取組みにしている。</u></p>	<p>じる。また、もっとこの所内研修の内容を濃くしていくために、職員一人ひとりが研修資料を提案したりしながら、今後も継続して所内研修に取組めればと思う。</p> <p>(1) グループ分けをして取組むことで、それぞれの仲間とのやりとりもゆっくりと取組めたことや、それぞれのグループで工夫しながら進められるようになってきたと感じる。そのことで、仲間もお給料をもらうことにより一層期待が膨らんでいたように感じられるが、中にはもっとわかりやすい方法を模索する必要がある仲間もいると思われるため、職員で検討、論議をしていくことが大切である。</p>	<p>っと論議していく時間も必要だと感じる。また、もっとこの所内研修の内容を濃くしていくために、職員一人ひとりが研修資料を提案したり、講師を招いてなど、今後も継続して所内研修に取組めればと思う。</p> <p>(1) グループ分けをしての取組みを始めて、仲間とのやりとりもゆっくり出来、お給料への期待も膨らんできたと思うが、もっと仲間にとってのわかりやすさを追求していくことも必要だと感じる。職員間でそれぞれのグループでの取組み伝え合い、検討、論議を来年度はしていく。</p>
---	------------	---	--	--

		<p>(2) 職員は作業ごとに年間計画をたて、やりきる意識を持ち取り組んでいく。また、年間の収入見込みをふまえ、毎月の収支を確認し、意識しながら取り組んでいくことはもちろん、それに加え、<u>2ヶ月ごとに年間計画の進み具合の確認と修正をおこな</u><u>い、安定した収入をめざす。</u></p> <p>(3) 今、取り組んでいる作業について、収入増につながる工夫をする。また、新たに収入増につながる取組みも積極的に意見を出し合い検討していく。</p>	<p>(2)(3) 今、取り組んでいる作業の中で、新商品の試作をおこなったり、リサイクル作業の種類を増やす検討などはおこなっているが、今の段階では収入増につながってはいない。また、毎月の職員会議と定期的に収支の状況を確認する機会はあるが、収入減に対しての具体的な修正策までに至っていない。また、出店についてもここ数年減っている中でそれに代わる取組みも提案できていない。あと、下請け作業のひとつが10月末で終了してしまうため、それに代わるものも今後みつけていかなければならない。</p>	<p>(2)(3) 今年度、計画に沿って進めてきたが、リサイクル作業は新たな取組みに繋がりにくかったが、草木染めについては新商品を販売することが出来た。新商品については今後、売れ行き状況も把握しながら進めていくこと必要。また、定期的に収支の状況を確認し具体的な修正策を検討する機会も持ち取組んだが、なかなかいい案は出て来ず。そういった厳しい状況の中、ひとつだけ仲間も職員も一緒になって考えられたのがはぐくみオリジナルトレーナー。映画会での販売をおこなった。数枚の販売でしかなかったが、映画会のあと市地域の方から注文があった。今後、ひとつの作業としてオリジナル商品の販売も検討出来ればと思う。</p>
--	--	---	--	---

<p>3 職員の資質の向上 (継続)</p>	<p>年 間</p>	<p>(4) 収支だけにとらわれるのではなく、職員は仲間が働くということや、仲間のお給料についての論議も深めていく。(会議日程 11 月)</p> <p>(1) 職員の資質向上のため、年間計画をたて、研修に参加していく。また、支援に必要となってくる様々な研修についても、その都度、積極的に参加していく。職員会議では研修報告をおこない、日々の実践につなげていけるよう論議を深めていく。 <u>(所内研修については昨年度の内容を継続する)</u></p>	<p>(4) 毎月のお給料の話し合いの中で、職員は仲間の達成感や満足感に繋がられているか意識が持っていると感じる。11月の所内研修でこのテーマについて論議を深めていけるようにと思う。</p> <p>(1) 年間計画に基づいて研修への参加は出来ている。また、研修報告についても、一定の様式にし、報告がし易いように、わかりやすいようにしたことで論議もしやすくなった。今後、研修報告を日々の実践にもつなげられるように、研修資料の閲覧や研修報告がどの職員もいつでも見られるようにまとめておく工夫も出来ればと思う。</p>	<p>(4) このテーマについて継続して論議出来たことは良かった。それぞれの職員が仲間の姿を思い浮かべながら意見を出し、それについて考える機会となった。 このテーマについてもっと深めていくためにも研修に参加し、職員で論議出来るといいのではと思う。</p> <p>(1) 年間計画に沿って研修に参加できた。また、その都度、案内のあった研修への参加もいくつか出来た。 今年度より研修報告は一定の様式にて報告をするようにしたが、ポイントを絞り、みんなにわかりやすい報告とまではまだまだなっていない部分もあるため、今後は、よりわかりやすく、それを基に意見交換が出来るよう努力していく必要がある。</p>
----------------------------	------------	---	--	---

		<p>(2) 職員全体が仲間の話しを積極的にし、日々の実践について振り返りや悩み、疑問を出し合い論議をしていく。(どんなことでも相談していけるよう、相談ノートを設け、日々の悩みなど記入し、職員で論議出来るようにしていく。<u>ノートの活用については、職員が積極的に活用できる方法を模索する</u>)</p> <p>(3) 報告、連絡、相談を定着さる。 <u>(定着させるための工夫をおこなう)</u> また、職員のチームワーク力を高めていくために、職員体制を</p>	<p>(2) 今年度より相談ノートを職員一人ひとりに配布し、日々の中での悩みや相談してみたいことを書き留めて置けるようにしたが、まだまだ積極的な活用には至っていない。ただ、昨年に比べて、毎日の日誌を記録している時にその日の仲間の話しをすることは増えてきた。そのことを職員会議にもあげて論議を深め、職員間の共通認識に繋げていくことが必要。</p> <p>(3) すぐ報告、すぐ連絡、すぐ相談という部分については少しずつ出来てきたと感じるが、まだまだ不十分。相談したいがタイミングがということもあると</p>	<p>(2) 今年度より相談ノートを職員一人ひとりに配布し、日々の中での悩みや相談してみたいことを書き留めて置けるようにしたが、まだまだ積極的な活用には至っていない。ただ、昨年に比べて、毎日の日誌を記録している時にその日の仲間の話しをすることは増えてきた。それを職員全体での共通認識にしていくことがまだまだ不十分である。来年度は、夕方の時間の確保をしていき、職員全体でその日の振り返りが出来るようにしていき、またそれを次の日にパート職員へも引き継いでいきたいと思う。</p> <p>(3) すぐ報告、すぐ連絡、すぐ相談という部分については少しずつ出来てきたと感じるが、まだまだ不十分。報告や連絡というところ</p>
--	--	---	--	---

		<p>強化するとともに、<u>職員一人ひとり</u>が、<u>周りを見て、状況判断</u>が出来る力を身につけ、<u>日々の実践充実</u>につなげる。</p>	<p>思い、報告・連絡・相談箱を設けたが活用がない状態。報告や連絡というところについては、日々の仲間の様子など引継ぎでも重要な部分であるため強化していくことが今後も課題としてある。また、日中の仲間の支援で職員のチームワーク力を発揮できるようにしていくために、職員間の連携や職員の動きの把握についても職員一人ひとりが意識できることが課題とされる。</p>	<p>ろについては、日々の仲間の様子や業務など引継ぎでも重要な部分がたくさんある。強化していくためのやり方の工夫が今後の課題である。</p> <p>また、チームワーク力を高めることについては、それぞれの職員の力量アップが必要である。</p>
--	--	--	--	--

Ⅲ 公益事業
事業計画

項目	期間	事業内容	中間総括	年間総括
1 主たる介護者のレスパイトや緊急時の対応のための支援	年間	<p>(1) 主たる介護者のレスパイトや作業所での支援時間帯以外に起こった本人や家族の方の緊急時の対応をすることで障害のある人やその家族の安心した生活が営めるよう日中一時支援事業を行う。</p> <p>(2) 開所曜日、開所時間については、月火水金の15:30~18:00(土日については、要相談)とする。</p> <p>(3) 利用についての感想やニーズの汲み取りをおこない、今後の支援につなげていく。</p>	<p>利用については、若干、増えている。また、緊急対応もあり、その都度、対応することが出来た。</p> <p>利用される仲間について、ずっと同じ空間にいることがしんどい仲間もいるため、支援内容の検討も必要かと感じた。</p> <p>今後についてはニーズ調査をおこなうこと、連絡帳に利用時の仲間の様子をしっかり記入していくことが大切である。あと、緊急対応時などでの職員の体制にも課題があると感じる。</p>	<p>今年度は緊急対応や定期的な利用があった。利用時の支援については、仲間の方にとって心地よく過ごせる支援内容の検討が必要だと感じる。また、緊急対応時の職員体制についても課題がある。</p> <p>あと、現在、数名の方の利用となっており、ニーズ調査を3月におこない、調査結果を踏まえて今後、事業内容を検討していくことも必要かと思われる。</p>
2 余暇に対する支援	年4回~6回	<p>(1) 障害のある方の休日の過ごしを充実させることを目的とし、「はぐくみ良か余暇支援活動」を年4回~6回の実施を予定。</p> <p>(2) 参加される方が、四季を感じたり、色々な体験ができたり、自分たちが住んでいる滋賀の魅力が発見できる機会、また、ボランティアさんを通じて、人とのふれ合いを感じ</p>	<p>参加される仲間の方は、色々な経験ができ、またボランティアさんともかかわりが増え、楽しい活動となっていると感じる。</p> <p>活動内容については、天候に左右されることもあるため、活動内容と時期の検討も必要。</p> <p>また、次年度の活動資金作りにも取り組んでいく。</p>	<p>今年度も定期的な活動が実施出来たが、天候に左右されることがあるため、活動内容と活動時期の検討は必要。</p> <p>ボランティアさんについては、継続して参加して下さる方が増え、仲間の方との関係もより良いものとなってきており、仲間の方にとって充実した活動になって</p>

		られるような活動とする。		きた。また、今年度もボランティアさんが数名増えたことは大変良かった。 来年度の活動資金についても、滋賀県共同募金会のつかいみちを選べる募金活動に取組み資金作りを取組めた。
--	--	--------------	--	--

IV 将来計画に関連する事業

事業計画

項目	期間	事業内容	中間総括	年間総括
1 障害の重い人たちの進路先の保障や住まいの場の確保を目的とした事業についての検討（継続）	年間	<p>(1) 現在、地域の養護学校に通われている児童・生徒の進路先の保障や主たる介護者の高齢化に伴う本人の生活の場の確保といった課題を解決するために、法人の将来計画として「生活介護事業所の創設」や「ホームの創設」といった新たな事業展開を検討する。</p> <p>(2) 新たな事業展開を検討するにあたっては、外部の方にも参画いただいている将来計画実現委員会と連携しながら進める。</p> <p>(3) 地域課題として関係機関と課題について共有することが大事であり、県市との協議や圏域や市の自立支援協議会に積極的に参加し、情報の共有に努める。</p>	<p>将来計画の検討及び具体化については、昨年度に引き続き大きな課題としてとらえ、今年度も取り組んできました。</p> <p>大きなポイントとしましては、事業の具体化が遅れている中、また、現状のニーズを確認する中で「生活介護事業所の創設」や「ホームの創設」といった内容について再考し、「日中サービス支援型グループホームの創設」といった内容で具体化を図るべく、進めてまいりました。ここに至った理由としては、昨年度、市長との懇談もすすめる中、市として市有地のリストを提示される中で、グループホームとして利用できそうな土地があったことで、具体化に向けて市との協議ができたこと。国から出された新たな制度として日中サービス支援型があり、ニーズに合った形で運営ができそうなこと。そして、何より主たる介護者であるご家族の高齢化等ニーズがより深刻化している中で、事業の具体化が急がれてい</p>	<p>2019年度に入り、日中サービス支援型グループホームの創設といった計画について、議論を進め、具体化に向けて進めてきました。このことについては、主たる介護者であるご家族の高齢化等ニーズがより深刻化している中で、事業の具体化が急がれていることもある中で、守山市の市有地について入札の話があり、より具体化に向けて進めていける見通しが立ったことがあります。12月に入札で無事に土地の取得ができたことや国庫補助申請の手続きを市や県と協議をする中で進めてこれたことは、大きな成果だと思います。ただ、国庫補助申請の採択については、2020年6月にならないと結果が出ませんが、引き続き、今やれることについては進めてまいり</p>
2 土地確保に	年間	<p>(1) 国庫補助申請を視野に入れ、</p>		

<p>向けての取り組み（継続）</p>		<p>新たな事業を行うための土地の確保に向けて、購入も含め検討実施する。</p>	<p>ることです。「生活介護事業所の創設」につきましても、野洲養護学校の卒業生の進路先については、深刻な状況が続いています。今回の変更により、具体化については、時間がかかるということになりそうですが、日中サービス支援型のグループホームということで、重度の方が対象になる中で、卒業後、直接、グループホームへの入所を希望されるケースや当事業所からの入所者が出た場合に、作業所の通所自体に若干の空きが出ることも予想される中で、十分ではないにしても当法人としてできることを模索してまいります。</p> <p>また、計画の変更に伴い将来計画実現委員会の部会の運営について、今後どうしていくかといった新たな課題も出ています。参加していただいている皆様の意見も踏まえながら、引き続き検討してまいります。</p> <p>これらのことを進める中で、国庫補助の申請についても、7月に希望を挙げ9月に協議書を提出しました。土地につきましては、市との協議を行う中で、入札による売買ということをお言</p>	<p>ます。</p> <p>一方、「生活介護事業所の創設」につきましては、グループホームの話がある中、資金面でも厳しい状況にあり、具体化に時間がかかりそうであるということになったのですが、養護学校卒業生のニーズも確認し、また、法人としての役割もある中で、他のやり方を模索できないかということで理事会でも検討してきました。このことにつきましても、2020年度も引き続き検討課題とします。</p> <p>また、それらのことに伴って将来計画実現委員会の運営についてもご意見を伺う中で、どうしていくのかを検討してまいりました。地域課題の解決に向け、地域の関係者とともに協力しながら進めることを再度確認することができました。年度後半から、新型コロナウイルス感染症の影響で委員会の会議ができない状況が続いていますが、2020年度におきま</p>
<p>3 資金作りの取り組み（継続）</p>	<p>年 間</p>	<p>(1) 新たな事業実施に必要な自己資金について、後援会とも連携しながら積極的に取り組む。</p>	<p>ることです。「生活介護事業所の創設」につきましても、野洲養護学校の卒業生の進路先については、深刻な状況が続いています。今回の変更により、具体化については、時間がかかるということになりそうですが、日中サービス支援型のグループホームということで、重度の方が対象になる中で、卒業後、直接、グループホームへの入所を希望されるケースや当事業所からの入所者が出た場合に、作業所の通所自体に若干の空きが出ることも予想される中で、十分ではないにしても当法人としてできることを模索してまいります。</p> <p>また、計画の変更に伴い将来計画実現委員会の部会の運営について、今後どうしていくかといった新たな課題も出ています。参加していただいている皆様の意見も踏まえながら、引き続き検討してまいります。</p> <p>これらのことを進める中で、国庫補助の申請についても、7月に希望を挙げ9月に協議書を提出しました。土地につきましては、市との協議を行う中で、入札による売買ということをお言</p>	<p>ます。</p> <p>一方、「生活介護事業所の創設」につきましては、グループホームの話がある中、資金面でも厳しい状況にあり、具体化に時間がかかりそうであるということになったのですが、養護学校卒業生のニーズも確認し、また、法人としての役割もある中で、他のやり方を模索できないかということで理事会でも検討してきました。このことにつきましても、2020年度も引き続き検討課題とします。</p> <p>また、それらのことに伴って将来計画実現委員会の運営についてもご意見を伺う中で、どうしていくのかを検討してまいりました。地域課題の解決に向け、地域の関係者ととともに協力しながら進めることを再度確認することができました。年度後半から、新型コロナウイルス感染症の影響で委員会の会議ができない状況が続いていますが、2020年度におきま</p>
<p>4 グループホーム開設のための人材育成の取り組み（新規）</p>	<p>年 1 回</p>	<p>(1) 将来グループホームを開設する予定であることを踏まえ、人材育成を目的とした利用者宿泊体験事業を実施する。</p>	<p>ることです。「生活介護事業所の創設」につきましても、野洲養護学校の卒業生の進路先については、深刻な状況が続いています。今回の変更により、具体化については、時間がかかるということになりそうですが、日中サービス支援型のグループホームということで、重度の方が対象になる中で、卒業後、直接、グループホームへの入所を希望されるケースや当事業所からの入所者が出た場合に、作業所の通所自体に若干の空きが出ることも予想される中で、十分ではないにしても当法人としてできることを模索してまいります。</p> <p>また、計画の変更に伴い将来計画実現委員会の部会の運営について、今後どうしていくかといった新たな課題も出ています。参加していただいている皆様の意見も踏まえながら、引き続き検討してまいります。</p> <p>これらのことを進める中で、国庫補助の申請についても、7月に希望を挙げ9月に協議書を提出しました。土地につきましては、市との協議を行う中で、入札による売買ということをお言</p>	<p>ます。</p> <p>一方、「生活介護事業所の創設」につきましては、グループホームの話がある中、資金面でも厳しい状況にあり、具体化に時間がかかりそうであるということになったのですが、養護学校卒業生のニーズも確認し、また、法人としての役割もある中で、他のやり方を模索できないかということで理事会でも検討してきました。このことにつきましても、2020年度も引き続き検討課題とします。</p> <p>また、それらのことに伴って将来計画実現委員会の運営についてもご意見を伺う中で、どうしていくのかを検討してまいりました。地域課題の解決に向け、地域の関係者ととともに協力しながら進めることを再度確認することができました。年度後半から、新型コロナウイルス感染症の影響で委員会の会議ができない状況が続いていますが、2020年度におきま</p>

			<p>れており、11月中旬に市から公募をかけられました。12月に入札ということになりますので、当法人としても入札に参加する予定です。</p> <p>あと、9月に人材育成を目的とした利用者宿泊体験事業を実施することができました。初めての試みになりましたが、職員にとっても学ぶ機会となりました。</p>	<p>ても、事務局会議の中で進め方やその内容について検討してまいります。</p>
--	--	--	---	--

V 地域との連携や地域貢献

事業計画

項目	期間	事業内容	中間総括	年間総括
1 地域の方々に応援していただくための取り組み（継続）	年間	(1) アルミ缶・段ボール回収に対する協力の周知 (2) 事業所の活動に対するボランティアの受け入れ (3) 後援会とも連携して「はぐくみ市」を開催（11月） (4) 後援会とも連携して「はぐくみ映画会」を開催（翌1月） (5) きょうされんの署名活動などを通じて作業所や障害のある人たちのことを知っていただく。	後援会と連携し、8月に「はぐくみまつり」を開催し、地域の方々と交流する機会を持てた。また、11月に「はぐくみ市」を開催できた。 また、行事の際のボランティアの確保については、継続して募集を行っていることで見学者もあり、結果ボランティア登録をしていただいた方が1名あった。	2019 年度におきましても、「はぐくみまつり」「はぐくみ市」「はぐくみ映画会」と後援会との共催で行うことができました。 また、ボランティアの確保についても、良か余暇支援活動などを通じて若干ですが、増えてまいりました。 あと、きょうされんの署名活動についても、例年通り取り組むことができました。
2 地域貢献のための取り組み（継続）	年間	(1) 地域の方々との交流を目的に後援会とも連携して「はぐくみまつり」を開催（8月）	また、行事の際のボランティアの確保については、継続して募集を行っていることで見学者もあり、結果ボランティア登録をしていただいた方が1名あった。 今年度後半に向けては、「はぐくみ映画会」を翌1月に予定しているので、しっかりと準備を進めたい。	ただ、年度後半には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ボランティアの受け入れについて一時休止となりました。このことは、 2020 年度についても、続いております。感染症の一日も早い終息を期待しつつ、感染予防に努めてまいります。

【2019 年度事業実績】

○ 年間開所日数及び 1 日平均利用者数

	開所日数	平均利用者数
生活介護	256 日	11.4 人
就労継続支援 B 型	256 日	3.8 人
合 計		15.2 人

○ 職員体制（2020 年 3 月末時点）

生活介護		就労継続支援 B 型	
管理者	1 名（内兼務 1 名）	管理者	1 名（内兼務 1 名）
サービス管理責任者	1 名（内兼務 1 名）	サービス管理責任者	1 名（内兼務 1 名）
生活支援員	12 名（内兼務 2 名）	職業指導員	1 名
看護職員	2 名	生活支援員	1 名（内兼務 1 名）
調理員	1 名（内兼務 1 名）	調理員	1 名（内兼務 1 名）
事務員	2 名（内兼務 2 名）	事務員	2 名（内兼務 2 名）

○ 入退所者数

	定員	入所者数	退所者数	現員（3 月末）	昨年比
生活介護	10	0	0	13	±0
就労継続支援 B 型	10	0	0	5	±0
合 計	20	0	0	18	±0

○ 事故報告について

活動中の大怪我（病院搬送）	0 件	-1	
活動中の怪我（軽微なもの）	12 件	-3	転倒の際の打撲、擦り傷等 接触転倒により擦過傷（職員病院へ）
活動中の車両事故（物損）	1 件	+1	高架下ポールに接触
活動中の車両事故（人身）	0 件	±0	
送迎中の車両事故（物損）	1 件	-2	送迎時、スライドドア開閉時に電柱に接触
送迎中の車両事故（人身）	0 件	±0	
火事・災害等による怪我	0 件	±0	
食中毒の発生	0 件	±0	
その他①	4 件	±0	買い物のお釣り返し忘れ、活動中、集団とはぐれる 製菓商品、賞味期限の記入ミス 賞味期限切れ材料使用してしまった
その他②	1 件		服薬忘れ
その他③	1 件		行事後、調整池の施錠忘れ
合 計	20 件	-6	

【今後に向けて】・活動中の仲間の見守り、職員間の連携の強化。

- ・車両事故については、運転者そして添乗職員も安全確認への意識を持つ。
- ・服薬管理の徹底。
- ・食品製造管理の意識強化。
- ・行事担当者の責任意識強化。

○ 苦情解決について

（苦情受付件数と内容）

身体介助（衣服）に関するもの	2 件	+1	靴の履き方、服の調整
身体の異常（怪我）に関するもの	1 件	-1	噛まれたような跡がある
介助に関するもの	2 件	+2	お弁当を温めてほしい 歯磨きをしてもらえてるか

施設環境に関するもの	0件	±0	
活動内容に関するもの	2件	±0	ボランティアさんへの連絡不足、回収BOX引き上げ忘れ
利用者の持ち物に関するもの	2件	+2	忘れ物
運転に関するもの	0件	±0	
家族の方に関するもの	2件	+1	利用者さんから文句を言われ嫌な思いをされた 来月の予定のお知らせ
地域の方からに関するもの	1件	±0	まつり時、無断駐車
合 計	11件	+1	

【今後に向けて】・仲間の見守りの強化。

・担当職員の確認意識の強化。

○ 虐待防止対応について

(虐待受付件数と対応)

	件数		内、虐待防止センター等への通報件数
所内における身体的虐待	0件	±0	0件
所内におけるネグレクト	0件	±0	0件
所内における心理的虐待	0件	-1	0件
所内における性的虐待	0件	±0	0件
所内における経済的虐待	0件	±0	0件
合 計	0件	-1	0件

【今後に向けて】・虐待防止、人権への意識を常に持つ取組みをおこなう。

・年2回、所内研修をおこない、虐待チェックリストなど活用して日々を振り返り虐待防止への意識を強化。